



TCA

—NEWS—

Vol.60 春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市民国際交流センター内
TEL (076)444-0642 FAX (076)444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

共に生きる 多文化共生社会に向けて...



当協会では出会った
仲間たち...

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

多国言語文化交流クラス

エジプト&エジプトアラビア語

1月5日

講師 マリアム・アリ・ハッサン氏(富山大学医薬部大学院生)
シハタ・ムハマド・ハッサン氏(富山大学医薬部大学院生)

エジプトは、日本では「ファラオの国」というように古代イメージのとおり、紀元前3000年、紀元後2000年と5000年の長い歴史と文化を持つ国です。エジプトの公用語はアラビア語です。

ツタンカーメンら古代エジプトの王やローマ帝国との関係、ピラミッドやクレオパトラほか興味深いエジプトの地理、歴史、文化、衣食住等のことを短い時間にお話をしてもらうことは至難の業です。それでもマリアムさんらが丁寧に調べたものを整理しながら、分かり易く参加者に話して下さいました。

古代エジプトを今に残す観光地エジプトに興味を示す参加者は熱心に聞き入り、質問もたくさん出て、エジプトの魅力を知って楽しみました。



ケニア&スワヒリ語

2月2日

講師 ドリス・ネケサ氏(富山工業高等専門学校留学生)

アフリカ赤道直下に位置するケニアは、エチオピア、ウガンダ、タンザニア、ソマリア、スーダンに隣接し、インド洋に面した人口は3,430万人の国です。イギリスから独立して1964年にケニア共和国となりました。言葉や習慣の異なるキクユ、ルヒヤ、カレンジン、ルオ、マサイ等40以上の民族からなり、公用語は英語で、スワヒリ語は国語として異なる民族間での共通語として使用されています。

ケニアと聞いたら、視力が6.0以上ある？草原の遙か彼方にいる動物を見分けることが出来るという「マサイ族」を思い起すのでは…。マサイ・マラ国立保護区など動物保護区がたくさんあり、大自然と野生動物の楽園とも呼ばれていますが、首都ナイロビは、人口220万人の大都市に成長し、アフリカ人、アジア人、ヨーロッパ人も多く住む国際都市となっています…と。

赤道が通る町として知られるナニユキ出身のドリスさんから流暢な日本語でケニアの地理、歴史から衣食住まで色々なことを教わりました。



イラン&ペルシャ語

3月1日

講師 ユセフィ・ハミドレザ氏(富山大学工学部大学院生)

イラン・イスラム共和国は、西アジアに位置しペルシャとも言われ、日本から首都テヘランへは約10時間です。

日本語も少し混えながら、地理、気候、歴史、教育、文化など紹介されるユセフィさんに、参加者はその場面毎に質問をし、大変興味深さを示していました。

- ・公用語はペルシャ語です。
- ・基本的には、学校、病院、プール(海水浴)ほか、男女は別々となっています。
- ・女性たちの服装はカラフルでファッションブルなものが、肌をあまり見せないスタイルで、頭にはスカーフをつけます。
- ・主食は、ごはん・パンでケバブなど肉料理が多い。
- ・イランのお正月は、3月21日です。お正月の前には念入りに大掃除をして、新しい年を迎える5時間前には、7種類の「S」で始まる食べ物をテーブルに並べ、鏡をその正面に置きます。それぞれには、生命、美と健康、愛、忍耐、豊富、純粹、日の出など意味があります。
- ・ひげの無いイケメンのユセフィさんにどうして…？と。「イスラムの教えは、自分の心の中にあるものです。ひげをそっている人もたくさんいます」と。



英語スピーチと討論の会(ESD)

1月例会 1月8日 18:30~20:00

テーマ 「The Impact of Digital Publishing on the Modern Society」

スピーカー Dorin Gutu 氏
(富山大学工学部大学院生 モルドバ出身)

世を挙げてのデジタル時代、若い世代はパソコンやケータイ、デジカメ、電子ブック、音楽プレーヤー、eマネー電子商取、カーナビ等を自在に操って日々の生活をエンジョイしています。他方古い世代の人は、機械の操作に苦慮する人が少なくないが、その便利さを楽しむには時代の流れに追従していくしかありません。このようにデジタル製品の出現は、それまでの世の中を大きく変えてしまいました。デジタルパブリッシングと言われる電子出版もその流れの1つで、パソコンやケータイを操作するだけで、誰とでも同時にコミュニケーションができ、わざわざ図書館まで出向かなくても、例えば夜中であっても、世界中の膨大な情報の中から自分の必要とするものだけを取捨選択し、その場でプリントアウト出来ます。誠に「優れ物」と言えますが、もちろん欠点がない訳ではありません。しかしメリットの方がはるかに大きいので、多くの人に受け入れられており、これからも発展し続けると思います…と。



2月例会 2月12日 18:30~20:00

テーマ 「The difference between teaching methods and students' learning preferences in different countries」

スピーカー Ludmila Cazac 氏(主婦 モルドバ出身)

ミラさんは、「英語教育の国際比較」と言う内容でボローニャ・プロセスを中心に話されました。

欧州の統合(EU)は、金融・経済面にとどまらず、高等教育に於いても同様に行なわれるべきである。ボローニャ・プロセスは、「ヨーロッパ諸国に分かり易くて比較可能な学位制度と学習科目の共通単位相互認定制度で、1999年に設立され2010年までに作り上げる。」とするもので、学生や研究者達の流動性を促進することを目的としています…と。

英語は、意志疎通の国際的な手段で、約18億の人々によって話されています。英語の効果的な指導法について、ミラさんと活発に討論を行なわれました。



3月例会 3月11日 18:30~20:00

テーマ 「Presidential Elections in the United States」

スピーカー Brett Quimby 氏(黒都市国際交流員)

アメリカの大統領選挙は、長丁場でどんな手続きを踏んで選ばれるのかよくわからない。というので、ブレットさんから詳しく説明していただきました。

選挙のシステムやその問題点に関する質問から始まったDiscussionは、民主・共和両党の違いや、どちらを支持するか？なぜ？さらには、民主党候補者選んで接戦のクリントン、オバマ両氏の生い立ちから思想に至るまで話が及んで、白熱した討論になりました。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。



2007年度 「多文化共生のための通訳ボランティア入門講座」

当センター



多文化共生が進むと、さまざまな生活場面で、ことばや文化の違いが障壁となってコミュニケーションに支障が出てくる可能性があります。そこで、その橋渡しを行う通訳ボランティアが必要である、という認識のもと、4回にわたって、「通訳ボランティア入門講座」を実施しました。第1回は、日本における医療通訳派遣システムのパイオニアである西村明夫氏の講演を聴き、第2回から4回までは、実践的な練習を行いました。しかし、こうした試みは先駆的であるため使用できるテキストが存在しないので、講座担当者（原・穴戸・神保）は、まずテキスト作りから始めなければなりません。幸いにも、富山市民国際交流協会の外国人相談員である

	日 時	内 容
1	2007. 11. 17	オリエンテーション 講演 西村明夫氏 (NPO法人多言語社会リソース(MIC) かながわ)プログラム・アドバイザー 「在住外国人の言葉のギャップを 橋渡しする方法」 ～語学ボランティアから通訳ボランティアへ ワークショップ
2	12. 8	医療現場(病気・ケガなどの通訳)
3	2008. 1. 26	地域生活(ゴミの出し方の説明など)
4	2. 23	教育現場(各種行事の説明、先生との橋渡しなど)

銭輝さん（中国語）、白川セリナさん（ポルトガル語）をはじめ、英語はクリスティーナ布谷さん、韓国語は姜慶淑さんの全面的な協力のもと、みんなでテキスト（4カ国語版）を作り上げました。講師たち手作りのオリジナルなテキストを使っのトレーニングは活気にあふれ、生活習慣や文化的背景の違いも学習し、また語学に関しては、通訳トレーニングでよく使われる、クイックリスpons、シャドーイング、ロールプレイなど実践的な方法を取り入れ、受講者も講座担当者も本当に熱心に取り組みました。受講者の延べ人数は約150名にのぼり、語学を通して何か役にたちたいというみなさんの熱意を感じる講座となりました。

平成20年度においても、この講座を引き続き実施します。（6ページ「受講者募集」欄を参照ください。）こうした実践的な語学講座を通して、よりよい多文化共生社会の環境作りに貢献できたらうれしいと思っております。

講座担当 原 和子さん

平成19年度 中国語会話集中講座

当センター



中国語講座で一年間学習した中国語を使って、会話を楽しみ、会話能力の向上を目指しました。

第3回目には、藤野文昭氏を招いて特別講座を開催しました。

- | | | |
|-----|------|----------------------------|
| 第1回 | 3月1日 | 湯 老師 |
| | 入門A | 「中国語の基礎を学ぼう」 |
| 第2回 | 3月1日 | 銭 老師 |
| | 初 級 | 「物語を楽しく聞きましょう」『狼来了』『司馬光砸缸』 |
| 第3回 | 3月2日 | 藤野 老師 |
| | 特別講座 | 「中国について」 |
| 第4回 | 3月8日 | 応 老師 |
| | 入門B | 「よく使う介詞」在、从、用、离…… |
| 第5回 | 3月8日 | 郭 老師 |
| | 実践会話 | 「怎麼説？」 — こんな時、どう言えばいい？ — |

特別講座 「中国について」

講師 藤野 文昭氏（環日本海経済交流センター長）

「1972年に国交が正常化されて以来、経済・文化、様々な点で日本は交流を続けてきたが、そもそも日本と中国は全く違う国家である。日本が武士を中心とした集団の社会であったのに対し、中国は個人が中心、個人の社会であった。また日本は歴史を分断してきた国家であるが、中国は決して歴史を分断してはいない。」

近年中国は鄧小平の指導のもと、改革開放を進め、外国と提携し、外貨の導入を推し進めてきた。その結果めざましい発展を遂げたことは周知の事実であるが、その反面、都市部と農村部の格差の拡大、金融問題、政治体制の改革の遅れなど、解決すべき問題が山積している。」

受講者にとっては、藤野氏の豊富で確かな経験に裏づけされた、中国に対する見識の高さに圧倒された2時間の特別講座でした。

1972年に中国と国交が正常化される以前からすでに、中国を第一に視野におき、行動をおこしていたという藤野氏の先見の明の高さに驚きました。

後半の1時間は、受講者との対話の時間となり、会場からの忌憚の無い意見に熱意をもって次々と答えてくださり、白熱した議論となりました。

私たちは、「アジアの隣人」と今後はどのようにつきあっていけばよいのかなどを、改めて考えさせられる講義でした。

富山大学留学生ホームビジット

外国語はあまり話せなくても…

会員 高見泰子さん



1月26日(土)曇、富山大学留学生センターへ王照奎さん(中国)とエミリア・ピ・シュ・アワンベンさん(カメルーン)を迎えに行きました。帰り道に、みんなでスーパーに寄って昼食用の食材を一緒に買いました。

私たちは、英語をほんの少し話せる程度なので不安もありましたが、日本語のお勉強という事でしたのでほっとして、ホームビジットをお引き受けしました。

エミリアさんは、海を見たことがないというので家からすぐ近くの海を見に行きました。エミリアさんは、「夏になったら泳いでみたい!」と感激していました。

お昼は、王さんが腕を奮って、中国料理「焼蓮菜」を作ってくれました。とてもおいしく、我家でも挑戦してみたいと思っています。日本茶(抹茶)を飲んだ後、王さんから中国茶の入れ方を教えてもらいました。

また、日本の着物についてや、天神様、お雛様の由来などを話したり、中国やカメルーンの文化について聞かせてもらったりして楽しく過ごしました。

料理交流会



銭さんといっしょに

餃子をつくりましょう!

2月7日

とやましちゅうおうほけんふくし
富山市中央保健福祉センター

当協会外国人相談員の銭輝さんから「2月7日は、ちょうど中国のお正月ですよ。私の家でも夕べからギョーザをたくさん作って食べましたよ…」など、ギョーザにまつわる話を聞いて、本場中国の餃子の作り方を教わりました。

はじめに、栄養士さんから「食生活を見直してみよう」とお話を聞きました。バランスよく栄養をとるために、1日にとる料理の組み合わせと、そのおおよその量をコマのイラストで示され「自分にあった量は…」のチェックをしました。

餃子は、銭さんの判りやすい指導で楽しく作りました。6cmぐらいの丸くてうすい皮作りは、思ったよりうまくいかず、形も大きさも不揃いでしたが、それでも、モチモチ、アツアツの大変おいしいギョーザが出来上がりました。

折りしも、日本全国で中国製冷凍ギョーザによる中毒事件が起きた時でもあったので、参加者たちは、「手作りで、安全、安心を…そして、おいしく…」と、食生活を見直してみたのでは?…

かもしれませんね。

収集ボランティア

2月8日、皆様からご寄付いただきました古切手(1.2kg)、使用済みプリペイドカード(1.5kg)、未使用ハガキ(9枚)、ベルマーク(数点)を、富山県ボランティアセンターに届けました。

収集物は、富山県ボランティアセンターから各収集团体に送られ、収益金は、様々な援助資金として活用されます。

皆様のご協力に、心から感謝いたしますとともに、これからも収集ボランティアにご協力くださいますようお願いいたします。

ボランティア委員会

太極拳



こうし ちん けんきょうし
講師 陳 建強氏

1月20日
とう
当センター

当協会のイベントでお馴染の、中国では京劇俳優だったという陳 建強さんから太極拳を学びました。

ネコが歩く姿を…琵琶を持つような手の形を…と紹介しながら「ゆったりとした所作の中でリズムを感じながら集中心力を高めて下さい。太極拳は、中国の古い歴史の中から生れた武術であり、健康法です」と指導されました。

アメリカ、中国など外国の人たちや会員ら(25人参加)は、頼りない足取りながら真剣に武術に挑み?ゆったりと爽やかな汗を流しました。

最後は、太極拳ならではのあいさつ「礼」をして終わりました。

太極拳での挨拶は、抱拳礼といい右手をげんこつ「武術」にして左手で包みます。親指を折る「謙遜、相手を誉める」、人差し指「道徳」、中指「知恵」、薬指「やわらかい心、やさしさ」、小指「元気、健康」を表わすのだそうです。

第24回 もっと知ろう世界の街

3月9日 当センター

「ウラジオストクー Владивосток」

講師 米沢エカテリーナ氏



3月9日は、ロシアでは冬を見送り、春を待つ祭り「マースレニツァ(バター祭り)」の最後の日なのです。エカテリーナさんは、少しでもロシアに親しみを感じてもらいたい

と、祭りに食べるブリヌイ(ロシアクレープ)を手作りして、みんなをもてなすために、わざわざこの日を選びました。

写真を見たり、身近な日常生活の話を聞いたり、そしてブリヌイを食べながらウラジオストクの街を案内してもらいました。

なじみの薄かったウラジオストクにちょっと興味深く、関心を持ってもらえたのではないかな?

手作りのブリヌイは、オーチン フクスナ! (大変おいしかった)

文化交流委員会

新春国際交流のつどい2008

1月12日
CiC 5F 多目的ホール



ジュースで乾杯！

今年でもう15回目となる「新春国際交流のつどい2008」は、米国、オーストラリア、韓国、コンゴ、セネガル、パキスタン、モルドバ、ブラジルなど13カ国の外国の人たちと会員らの130人が「ことしもどうぞ…」と新春を祝い親睦を深めました。

はじめに、日本舞踊、祝賀の舞「八千代獅子」に続いて、尺八演奏「春の海」。華やかな中にも格調高く、日本のお正月らしいステージで幕開けしました。

各テーブルでは、いくつものミニ花籠が美しく飾られて、あべかわ餅やみかん、お菓子、ジュースなどを食べながら和やかに歓談し、楽しく交流を深めました。

ボリビア音楽を聞き、美しい民族衣装のカザフ舞踊を観たりした後に、日本のお正月ではおなじみの「福笑い」で楽しみました。グループ毎で協力した出来ばえは…??の国の人?の顔が出来上がるたびに会場から拍手や笑いがおきました。

最後は、恒例の「お楽しみ抽選会」。今年も大人気で、景品のシクラメンの花鉢を手にてきて、「ヤッター!!」の大喜びの明るい声などで会場は大賑わいでした。各テーブルを美しく飾ったミニ花籠は帰り際にお土産として全員にプレゼントされました。



日本舞踊
「八千代獅子」
尾上彌生さん



尺八
「春の海」
吉野櫻山さん



「カザフ舞踊」
マイラ・マイジティカンさん



当協会で「14歳の挑戦」を体験した
新庄中学2年生の仲良し…



「福笑い」??の国の人…の顔かな？



「ボリビア音楽」
ピテル・ロベスさん



「お楽しみ抽選会」大当たり…！

報告展

海外研修 姉妹都市「ダーラム」を訪問

～「日本風茶室」の落成式出席と親善交流～

2007年10月9日～16日に実施されました 海外研修「姉妹都市「ダーラム」を訪問」の報告展は、1月12日～25日まで当センターに於いて開催されました。

報告展では、日本風茶室完成式の式典や歓迎会の様子、ダーラム姉妹都市協会富山委員会やホームステイのホストファミリーの方々と訪問団との交流の様子などが、写真や報告書を展示して紹介されました。

(報告展は、当初1月18日までの予定でしたが多くの方に訪れていただき、1月25日まで開催いたしました。)

姉妹友好都市委員会

お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
多言語文化交流クラス「ブラジル&ポルトガル語」 グスタボ・マイア氏	4月5日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
英語スピーチと討論の会例会 Slobodan Pavkov氏	4月8日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
お花見交流会	4月19日(土) 11:00~14:30	集合サンシップ7F 松川べり	ボランティア	持ち寄りパーティー	会員・外国人
理事会	5月8日(木) 14:00~	当センター	—	—	—
英語スピーチと討論の会例会	5月13日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
総会・記念講演会・懇親会 記念講演 講師 阿部 一郎氏(自治体国際化協会多文化共生推進のためのアドバイザー) テーマ 「同化と分離の狭間で~危うい“多文化共生”の姿~」	5月31日(土) 14:00~	CiC3Fとやま市民交流館学習室・富山エクスセルホテル東急15Fリコモnte	合 同	懇親会4,000円	会 員
ボランティア講演会 講師 桑原 英文氏(JPCom代表)	5月24日(土) 14:00~	サンシップ富山福祉ホール	ボランティア	無料	会員・一般
料理交流会	6月4日(水) 10:30~14:00	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
多言語文化交流クラス「南アフリカ&コサ語」 Sibusisiwe Mgquba氏	6月7日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
多文化共生語学ボランティア入門講座開講	6月28日(土) 13:30~15:30	当センター	—	500円	会 員

* 4月~6月の行事につきましては企画中のものもありますので、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp>でご確認ください。

平成20年度 富山市民国際交流協会総会

と き 5月31日(土) 14:00

ところ CiCビル3F 学習室1~3

・総 会

・記念講演 講師 阿部 一郎氏(自治体国際化協会多文化共生推進のためのアドバイザー)
テーマ 「同化と分離の狭間で
~危うい“多文化共生”の姿~」

・交流レセプション 16:30

富山エクスセルホテル東急 レストラン「リコモnte」

参加会費 4,000円

※多くの方のみなさんの出席をお待ちしております。

平成20年度講座開講

協会主催講座

講 座	実施時期および日時	受講料等
ポルトガル語(入門)	毎週水曜日 18:30~20:00 5/14~ 30回	7,000円
韓国語(入門)	毎週水曜日 17:45~19:15 5/14~ 30回	7,000円
韓国語(初級)	毎週水曜日 19:20~20:50 5/14~ 30回	7,000円
中国語(初級)	毎週金曜日 18:30~20:00 5/16~ 30回	7,000円
ボランティアによる日本語クラス	毎週(随時) 随時 週1回	300円
学習日本語支援教室「勉強お助け隊」	毎週木曜日 16:00~17:30 週1回	無 料
	毎週日曜日 10:15~11:45 週1回	無 料
月季の会	第2金曜日 14:00~16:00 月1回	無 料
エンコントロ	毎週日曜日 16:00~17:00 週1回	
高校生のための通訳ガイド入門集中講座	夏休み期間中	未 定
多文化共生語学ボランティア入門講座	同ページ 受講者募集ノ欄を参照	500円

国際教養委員会主催講座

講座クラス名	研修実施 日・時
1. 英語通訳・ガイド実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
2. 国際交流のための時事英語クラス	毎月第2土曜日 10:00~12:00
3. 英語によるスピーチと討論の会(E.S.D)	毎月第2火曜日 18:30~20:00
4. 日本の生活を英語で語るクラス	毎月第3土曜日 10:30~12:00
5. 日本語ボランティア養成講座(春・秋クラス)	第1.3木曜日 10:30~12:00
6. 中国語入門クラスA	毎月第1土曜日 10:00~12:00
7. 中国語入門クラスB	毎月第2土曜日 10:00~12:00
8. 中国語初級ヒアリングクラス	毎月第3土曜日 13:30~15:30
9. 中国語実践会話クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
10. ロシア語初級会話クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
11. 多言語文化交流クラス	毎月第1土曜日 13:30~15:00

私たち、広報委員会現スタッフは、協会規約「役員改選」に伴い、Vol.60 春号をもちましてその任期を終えることになりました。

協会設立以来、会員のみなさまをはじめ多くの方々のご指導、ご協力をいただきながらニュースレターの発行ほか、広報活動を続けてくることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

広報委員会スタッフ一同

受講者募集!

研修場所 当センター

平成20年度

多文化共生語学ボランティア入門講座

富山県に在住する外国人は1万5千人を越え(平成19年12月末)、私たちにとてもますます身近な存在となっています。しかし、言葉の壁や文化の違いからさまざまな場面でお互いのコミュニケーションに支障が生じることがあります。そこで、当協会では、外国人と日本人の間のコミュニケーションをサポートする「語学ボランティア入門講座」を開講します。多文化共生に興味のある方、ぜひ、ご参加ください。

対象受講者: 語学ボランティアの活動に関心のある人
(*国籍は問いません)

対象言語: 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語のいずれかに参加(*入門レベルから)

日 時: 6/28、7/26、11/8、12/13、1/24、2/28
及び富山市総合防災訓練(全7回土曜日)

場 所: 富山市国際交流センター会議室(CiC3F)

受 講 料: 500円(教材費)

募集人数: 各言語20名

申し込み・問い合わせ 富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町1-2-3 CiCビル3F

TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643

E-mail info@tca-toyama.jp

編集後記

2月7日、料理教室「銭さんといっしょに餃子を作しましょう。」に参加しました。「今日は、ちょうど中国のお正月ですよ。私の家でも夕べからたくさん餃子を作って食べましたよ。中国では、昔からお正月には餃子を作るとたくさん食べます。大晦日には、家族みんなで餃子を作ります。餃子作りは家族の楽しいコミュニケーションなんです。粉を捏ねるのは力のあるお父さんの役目、具の味をみるのはお母さんの役目、年寄りの言いつけを聞きながら子どもたちは皮を作ったり、具を包んだりしながら賑やかに楽しく作ります。そして、日本の紅白歌合戦のようなテレビ番組を見ながら夜は寝ないでお正月になります。」講師の銭輝さん(当協会外国人相談員)から、餃子にまつわる話や中国のお正月のこと等を聞きながら、少し前の日本のお正月を思い出しました。年暮れには、家族みんなで餅つきやおせち料理を作ったり、すず払いをしたりと大忙しにお正月の準備をしながら新年に夢を拓き、そして、家族が揃ってお雑煮を食べてお正月を、新年を祝っていた頃を思い出して参加者同志でなつかしく話合ったりしました。

かつては、遠くのいろんな国でそれぞれのいろんなお正月を迎えていた人たちが、いま、すぐ隣の家に住んでいるようなお正月を過ごしているのです。お店には、今まで見かけなかった食材や料理が並び、町にはいろんな国の人たちが行き来し、たくさんの言語を使って生活している人が一緒に住む社会がはじまっています。

国際環境の変化とそれに伴う諸問題など、お互い連携を保ち、協力しながら検討し、多文化共生社会に向けて、みんなで考え「一緒に住む社会」を築いていきたいですね。

空からみれば、みんな地球の家族です。

広報委員長 岡田昌代